

ポストはやぶさ2 ミッションの検討状況 Post-Hayabusa2 mission

吉川 真^{1*}, 矢野 創¹, 中村 良介², 松浦 周二¹, 橘 省吾³, 船瀬 龍⁴, 森 治¹
Makoto Yoshikawa^{1*}, Hajime Yano¹, Ryosuke Nakamura², Shuji Matsuura¹, Shogo Tachibana³, Ryu Funase⁴, Osamu Mori¹

¹ 宇宙航空研究開発機構, ² 産業技術総合研究所, ³ 北海道大学, ⁴ 東京大学

¹JAXA, ²National Institute of Advanced Science and Technology, ³Hokkaido University, ⁴The University of Tokyo

「はやぶさ」ミッションが終了し、その後継ミッションとして「はやぶさ2」が動き出している。「はやぶさ2」は2014年の打ち上げ予定で、地球帰還は2020年である。そして今、「はやぶさ2」の次のミッションについての検討が始まっている。すでに数年前から「はやぶさ2」の次のミッションとして、「はやぶさ Mk2」というものを検討していた。このミッションも、同様にサンプルリターンミッションであるが、D型天体ないしウィルソン・ハリントンのような枯渇彗星核からのサンプルリターンを目指すものであった。しかし、状況が変化してきたため、再検討を行い、現在はトロヤ群へのミッションについて検討を行っている。本講演では、現時点での検討状況について報告する。

キーワード: 小惑星, 探査, はやぶさ

Keywords: Asteroid, Exploration, Hayabusa